

# 地元企業に関心持って

「学生記者」が企業を取材して学生向けに発信するプロジェクトが7日、浜松市で始動した。学生に地元企業への関心を高めてもらい、就職や定住につなげるのが狙い。総合エネルギー業のエネジン（同市中区）が中心になって企画した。同社本社で開いた意見交換会には静岡大と静岡文化芸術大の1〜4年生4人が出席し、取材先などの検討に入った。

（浜松総局・山本淳樹）

## エネジン(中)企画

学生記者は就職を希望する業種などを選んで取材に出向く。学生目線で経営者や従業員に話を聞き、就職活動をする学生向けにブログなどで紹介。同社や市、信用金庫がノウハウ面でバックアップする。取材を受ける

企業にとっては学生にアピールする機会になる。意見交換会では学生が趣旨を確認した。デザイン事務所への就職を考える静岡文化芸術大4年の望月麻衣さん(21)は「卒業後は東京に就職して勉強したいが、事務所は浜

## 学生記者が取材、発信



意見交換会で企画の趣旨を確認する大学生ら  
＝浜松市中区のエネジン本社

松にも探せばあると思う。企画で選択肢が広がれば」と話した。学生記者は取材先や発信方法などを具体化させ、準備が整い次第、取材に入る。参加学生数は増やす方針。

同社は、県立浜松湖北高の生徒が取材した地元中小企業の魅力をブログで発信する取り組みもしている。